

関西医療大学 保健看護学部 保健看護学科 カリキュラム・マトリクス

本学では、4年間の授業科目全体を「総合教育科目(一般教養を幅広く学ぶ科目)」と「専門教育科目(目指す医療資格を専門的に学ぶ科目)」に分けて、それぞれを「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」に基づいて体系的に配当したカリキュラムのもとで教育を行っています。

また、本学の各学部・学科では、本学が掲げる「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)」に基づき、学生が卒業するまでの学びの過程で身につけることを求める8つのコンピテンシー(行動特性、能力)を定めています。学生は、1つ1つの授業科目を年次ごとに履修しながら対応するコンピテンシーの修得を積み重ねていきます。そして、社会の中で本学のディプロマ・ポリシーに相応しい人間性と学修成果を身につけた「社会に役立つ道に生きぬく」医療人として活躍することを目指します。

保健看護学科が学生に求める8つのコンピテンシー

① 人間力	幅広い教養と深い感性を身につけて行動することができる
② 倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
③ コミュニケーション能力	様々な状況に応じて相手を尊重し対話することができる
④ 課題探求力	課題の本質に目を向け問題意識を持ち探求できる
⑤ 臨床判断能力	看護学の体系化された専門知識を使って臨床判断できる
⑥ 看護実践力	看護学の知識・技術を臨床で統合して看護を実践できる
⑦ 協働する力	看護専門職としての責務を自覚し他者と協力して問題解決できる
⑧ 自己研鑽力	主体的に学び看護の向上を目指すことができる

大学・学部・学科のディプロマ・ポリシーとコンピテンシーの対応

大学・学部・学科のディプロマ・ポリシー		学科が求めるコンピテンシー							
		①人間力	②倫理に基づく行動力	③コミュニケーション能力	④課題探求力	⑤臨床判断能力	⑥看護実践力	⑦協働する力	⑧自己研鑽力
大学	1. 広い一般教養と、医療人としての高い倫理観に基づく実践力	●	●						
	2. 論理的な思考で問題解決できる能力				●	●			
	3. 医療人としての責任を自覚し、積極的に行動できる主体性					●	●		
	4. チーム医療の担い手として、多様な人々と協働・協働できる能力			●				●	
	5. 社会の要望に応えうる医療知識と技術						●		●
学部	1. 専門職に必要な、幅広い教養と高い倫理観	●	●						
	2. 専門職に求められる、高度な知識と技術					●	●		
	3. 専門職として、科学的に問題解決できる能力				●				●
	4. チーム医療の中で、専門職としての役割を自覚した行動力			●			●	●	
学科	1. 多様な人々とのコミュニケーション能力	●		●				●	
	2. 看護専門職に求められる高度な知識と技術				●	●	●		
	3. 科学的な思考に基づいた判断力と質の高い温かみのある実践力					●	●		●
	4. 看護専門職としての探求心と創造力		●		●				●

保健看護学科のカリキュラム配当科目とコンピテンシーの対応

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目		2年次配当科目		3年次配当科目		4年次配当科目	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
総合教育科目	①③ 東洋医療の基礎・導入教育	①④ 物質と自然のしくみ	①④ 情報科学	①③ 英語表現法Ⅳ	①③ 医療英語			
	①④ 科学の基礎	①④ 統計学の基礎	①③ 英語表現法Ⅲ					
	①④ 生命のしくみ	①② 社会福祉論						
	①④ 生命の化学	①④ 社会学						
	①② 生命倫理	①③ 生涯スポーツⅡ						
	①④ 日本国憲法(法の基礎知識)	①③ 英語表現法Ⅱ						
	①④ 心理学	①③ 手話						
	①④ 教育学							
	①③ 生涯スポーツⅠ							
	①③ スポーツと健康							
	①③ 国語表現法							
	①③ 英語表現法Ⅰ							
	①③ コミュニケーション学							
専門教育科目	④⑤ 人体の構造Ⅰ	④⑤ 人体の構造Ⅱ	④⑤ 日常生活活動学(ADL)	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅰ	④⑤ 保健統計学演習	⑥⑦ 母性看護学実習	④⑧ 総合看護学演習	④⑧ 総合看護学演習
	④⑤ 人体の機能Ⅰ	④⑤ 人体の機能Ⅱ	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅰ	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅱ	⑤⑥ 臨床看護実践論	⑥⑦ 小児看護学実習	⑥⑧ 総合看護学実習	⑥⑧ 総合看護学実習
	④⑧ 看護学概論	④⑤ 生体を構成する物質とはたらき	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅱ	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅲ	⑤⑥ 母性看護方法論Ⅱ	⑥⑦ 成人看護学実習Ⅰ	②⑦ 老年看護学実習Ⅱ	⑥⑦ 災害・国際看護論
	③⑥ 基礎看護技術論Ⅰ	④⑤ 人間の発達	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅲ	④⑤ 看護とくすり	⑤⑥ 母性看護学概論	⑥⑦ 成人看護学実習Ⅱ	④⑦ 保健医療福祉政策論	⑦⑧ 公衆衛生看護学概論
		④⑤ 看護にいかず病因・病態学	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅳ	⑤⑦ 保健・医療・福祉制度論	⑤⑥ 小児看護方法論Ⅱ	⑥⑦ 精神看護学実習	⑥⑦ 公衆衛生看護学計画論	⑥⑦ 公衆衛生看護学実習
		④⑧ 環境と健康	④⑤ 看護にいかず疾病論Ⅴ	④⑤ 疫学	⑤⑥ 小児看護学概論	⑥⑦ 在宅看護学実習	⑤⑥ 学校保健論	④⑧ 公衆衛生看護学研究
		④⑧ 看護活動と理論	④⑤ 食生活と健康	⑤⑥ 看護過程論	⑤⑥ 成人看護方法論Ⅲ	④⑤ 助産学概論	⑤⑥ 産業保健論	⑦⑧ 助産管理Ⅰ
		⑤⑥ フィジカルアセスメント	④⑤ カウンセリング論	⑤⑥ 看護過程論	⑤⑥ 成人看護方法論Ⅳ		⑥⑦ 公衆衛生看護学実習	⑦⑧ 助産管理Ⅱ
		⑤⑥ 基礎看護技術論Ⅱ	④⑤ 公衆衛生学	⑤⑥ 基礎看護技術論Ⅲ	⑤⑥ 成人看護学概論		④⑧ 公衆衛生看護学研究	⑥⑦ 助産学実習
		②③ 基礎看護学実習Ⅰ	④⑤ 保健統計学	⑤⑥ 基礎看護学実習Ⅱ	⑤⑥ 成人看護学開論		⑤⑥ 助産学実習Ⅰ	④⑧ 助産学研究
		④⑤ 成人期の健康と看護	⑤⑥ 看護過程論	⑤⑥ 母性看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 精神看護方法論Ⅱ		⑤⑥ 助産学実習Ⅱ	⑤⑧ 先端医療の現状
			④⑤ 女性の健康と看護	⑤⑥ 小児看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 精神看護学概論		⑤⑥ 助産学実習Ⅲ	④⑧ 看護学研究
			④⑤ 子どもの健康と看護	⑤⑥ 成人看護方法論Ⅱ	⑤⑥ 老年看護学開論		⑤⑥ 助産学実習Ⅳ	
			⑤⑥ 成人看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 精神看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 在宅看護方法論Ⅱ		⑤⑥ 助産学実習Ⅴ	
			④⑤ 心の健康と看護	⑤⑥ 老年看護方法論Ⅰ	⑤⑥ 在宅看護学概論		⑤⑥ 助産学実習Ⅵ	
			④⑤ 老年期の健康と看護	④⑥ 老年看護方法論Ⅱ	⑦⑧ 看護マネジメント論		⑥⑦ 助産学実習Ⅶ	
			④⑤ 在宅療養と看護	③⑦ 老年看護学実習Ⅰ	②⑦ リスクマネジメント論		④⑧ 助産学研究	
			④⑤ 公衆衛生看護学概論	⑤⑥ 在宅看護方法論Ⅰ	④⑧ 研究方法論基礎		⑥⑧ 救命救急看護学	
			②⑦ 看護倫理学	⑤⑥ 健康教育論	⑤⑥ 障害者と感染症の保健活動		⑥⑧ クリティカルケア論	
			③⑦ ボランティア論	⑤⑥ ライフサイクルと保健活動	⑤⑥ 家族看護論		⑥⑧ 看護にいかず手技療法	
				⑥⑧ 看護にいかずンボ刺激	⑤⑥ 公衆衛生看護学支援論		⑦⑧ ケアマネジメント論	
				⑥⑧ 子育て支援論	⑥⑧ 看護にいかずアロマセラピー		④⑧ 看護学研究	
				⑦⑧ チーム医療論				